

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

| | | | | | |
|---|--|----------|---|--|------------------|
| 事業名 | 一般国道474号 <small>さんえんなんしん</small> 三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路 <small>さくまさんえん</small> | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 国土交通省 中部地方整備局 |
| 起終点 | 自：静岡県浜松市天竜区佐久間町川合 <small>てんりゅう さくまちょうかわい</small> 至：静岡県浜松市北区引佐町東黒田 <small>いなさちょうひがしくろだ</small> | | | 延長 | 27.9 km |
| 事業概要 ： 一般国道474号三遠南信自動車道は長野県飯田市を起点とし、静岡県浜松市に至る全長約100kmの高規格幹線道路です。本事業の一般国道474号三遠南信自動車道佐久間道路・三遠道路は静岡県浜松市天竜区佐久間町川合から静岡県浜松市北区引佐町東黒田に至る延長27.9kmの自動車専用道路であり、広域ネットワークの構築、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を主な目的として事業を推進しています。 | | | | | |
| H5年度事業化 | | — | H13年度用地着手 | | H15年度工事着手 |
| 全体事業費 | | 1594億円 | 事業進捗率 | | 71% |
| 計画交通量 | | 9,800台/日 | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) | 1.2 | 総費用 (残事業)/事業全体 419/1,772億円 (事業費：384/1,701億円) (維持管理費：36/71億円) | 総便益 (残事業)/事業全体 791/2,064億円 (走行時間短縮便益：688/1,791億円) (走行経費減少便益：62/209億円) (交通事故減少便益：41/65億円) | 基準年 平成27年 |
| | (残事業) | 1.9 | | | |
| 感度分析の結果 ： (事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.3(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7~2.1(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.8~2.1(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9~2.4(事業期間±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 ： ①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・新幹線駅（JR浜松駅）へのアクセス向上が期待される。 ・空港（富士山静岡空港）へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・御前崎港等へのアクセス向上が期待される。 ③国土・地域ネットワークの構築 ・新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートが構成される。 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線が構成される。 ・現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消される。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。 ④個性ある地域の形成 ・地域連携プロジェクト、の支援が期待される。 ・主要な観光地（鳳来寺山）へのアクセス向上が期待される。 ⑤安全で安心できるくらしの確保 ・第三次救急医療施設（聖隷三方原病院）へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全な生活環境の確保 ・死傷事故率500件/億台km以上である区間の安全性の向上が期待できる。 ⑦災害への備え ・第二次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ・現道等の事前通行規制区間を解消する。 ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑨生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 | | | | | |

